

八舟

A Centenary Retrospective
Gyokuju Funada

田玉樹

生誕100年

船田玉樹展

ウェブ・レポーター大募集

関連企画「ウェブ・レポーター大募集」では日頃、ホームページやブログ、Twitter、Facebook等で情報発信をされている方に展覧会をご鑑賞いただき、その素敵な感想をインターネットを通じて、情報発信していただきます。なお、ウェブ・レポーターとして当日ご参加いただく方は、無料で展覧会をご鑑賞いただけます。

あなただけが知っている展覧会の面白さ、展覧会を鑑賞して発見した見どころなど、自由に発信してください。皆様のご参加をお待ちしております。

1月25日(金)開催!

船田玉樹(1912-1991)は、広島県賀茂郡広村(現在の呉市広)に生まれ、近年では日本画のアヴァンギャルドとして大変注目されている画家です。

最初の師は、かの天才日本画家・速水御舟(1894-1935)でした。しかし、まもなく御舟が没したため小林古徑(1883-1957)に師事。そこで、まず謹厳な線描と端麗な色彩を駆使した日本画表現を学びました。1938年には丸木位里らとシュルレアリスムや抽象主義などを積極的に取り入れ、日本画を基礎とした前衛表現を戦中まで追究しました。

戦後は郷里の広島に根をおろして創作を続け、岩絵具や墨のみならず油彩やガラス絵など、日本画では通常用いることのない様々な画材とひたすら向き合った作品も残しました。

本展覧会では、シュルレアリスムや抽象表現に挑戦していた時代の作品をはじめ、琳派的な豊かな装飾性を示す屏風作品、水墨表現の可能性を追い求めた山水画、扇面画、これまでほとんど知られていなかった河童の連作など、多彩な作品約230点(師や交友の画家たちの作品を含む)を一挙公開し、絵を描くことが人生そのものだったこの特異な画家の全容にせまります。

日 時：1月25日(金) 17:00～18:30

受付場所：3階展示室入口 実施場所：3階展示室内

対 象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどで情報発信をされている一般の方

特 典：実施当日に限り、生誕100年船田玉樹展にご招待

※事前申し込み不要。直接、開催日時に受付場所にお越しください。

※本企画は、2月3日までにインターネットを通じて、情報発信をしてくださる方、限定のイベントです。

※参加者全員に当日、掲載先等を明記する参加記入用紙の提出をお願いします。

※後日、本展の情報を掲載していただいた際には、代表メール(iroeuuma2@gmail.com)へ必ずご連絡ください。

(当館のブログやツイッターでも掲載記事等を紹介させていただきます。)